

## 第 69 回 仙台市児童・生徒理科作品展 審査要項

1 目的 この審査要項は、仙台市児童・生徒理科作品展を公正かつ厳正に審査するために設置するものである。

### 2 審査員

(1) 学識経験者・小中学校理科研究会会員・科学館職員を審査員に充てる。

(2) 審査員の選考及び委嘱は下記のように行う。

#### ①学識経験者

・科学館で各分野の有識者の中から審査員候補者を推薦し、主催者打ち合わせで決定する。

・主催者が委嘱する。

#### ②小中学校理科研究会会員

・小中学校理科研究会が選考する。

・主催者が委嘱する。

#### ③科学館職員

・各分野の科学館職員を審査員に充てる。

### 3 審査

(1) 審査部門：下記の 3 部門 9 分野で審査する。

【研究の部】 物理，化学，生物（動物），生物（植物），地学

【標本の部】 動物，植物，地学（岩石・鉱物・化石）

【科学工作の部】 科学工作

(2) 審査規準 別紙「第 69 回 仙台市児童・生徒理科作品展 審査規準」による。

(3) 審査方法

①一次審査・各分野につき 1 グループ 2 名以上の小中学校理科研究会会員が審査にあたる。（※昨年度と同様に審査員人数を R3 年度比の 2/3 で行う。）

・審査規準に基づいて 2 名以上で審査し、合議により部会長賞と教育長賞以上の候補とを選定する。

②二次審査・各分野につき学識経験者，小中学校理科研究会会員，科学館職員の 3 者が審査にあたり，主に一次審査で教育長賞以上候補となった作品を審査する。

・審査規準の各項目について点数化して審査し，合議により市長賞及び教育長賞，審査員特別賞（教育長賞の基準に満たないが，特に優れた観点を有する作品）を選定する。

(4) 審査結果の決定

・各分野での審査結果について教育委員会で決定する。

(5) その他

・個票：市長・教育長・審査員特別賞を受賞した作品に，学識経験者・審査教員からの講評を貼付する。

・講評：出品者全員に審査員講評（全分野の講評を記載したもの）を配布する。

### 4 審査日程

・審査は，小学校中学校別に行い，一次審査を半日，二次審査を 1 日で行う。

## 第 69 回 仙台市児童・生徒理科作品展 審査規準

### 1 各賞

市長賞：教育長賞のうち、特に優れている作品

教育長賞：部会長賞のうち、多くの観点で基準を満たし、優れている作品

審査員特別賞：教育長賞の基準に満たないが、特にすぐれた観点を有する作品

部会長賞：各学校を代表するに値する作品

### 2 審査規準

#### 【研究の部】

	審査の観点	審査規準	
		小学校低・中学年（1～4年）	小学校高学年／中学校
1	研究のねらいと内容の整合性	研究のねらいがはっきりしているか	←同左
2	検証方法の工夫	自分なりに工夫していろいろな方法で実験・観察・調査をしているか	創意工夫のある多面的な実験・観察・調査がなされているか
3	条件設定や検証データ数	実験・観察・調査を積み重ねたり比べたりして結果を確かめているか	信頼性や再現性のある結果が得られているか
4	結果のまとめかたと表し方	結果を整理してわかりやすくまとめているか	←同左
5	結果をふまえた考察	結果からわかったことや考えたことをしっかりまとめているか	考察がしっかりしているか

#### 【標本の部】

	審査の観点	審査規準	
		小学校低・中学年（1～4年）	小学校高学年／中学校
1	採集と作製の動機・目的	採集や標本づくりの目的がはっきりしているか	採集や標本作製の目的がはっきりしているか
2	目的に迫るための適切な採集	種類や数など、目的に合った採集をしているか	種や個体数など、目的に合った採集をしているか
3	個々の標本資料の処理技能	基本にそった標本づくりができているか	標本作製技術の基本がしっかりしているか
4	標本作品としての全体のまとまりと、目的に即したリストの作成	標本の並べ方や標本リストのまとめ方が目的に合っているか	目的に即した標本の配置や標本リストの整理がなされているか
5	作製の過程や結果から学んだことと感想	採集や標本づくりのまとめをしっかりとしているか	採集や標本作製のまとめをしっかりとしているか

#### 【科学工作の部】

	審査の観点	審査規準	
		小学校低・中学年（1～4年）	小学校高学年／中学校
1	科学工作であること（図工・美術作品との区別）	科学的な考え方やしくみを使っているか	科学的な原理や機構を使っているか
2	発想（着想・ひらめき）の独創性	自分なりのアイデアに基づいているか	発想に独創性はあるか
3	作製過程での工夫と努力（作製と検証の手法や手段）	目的にあった方法を用いているかまたは適切な工夫をしているか	製作目的を達成するために適切な手段を用いているかまたは検証しながら作品を改善しているか
4	各部の強度や接続状態、バランス、滑らかさなど	しっかりと動くか	動作が安定しているか
5	細部の仕上げと全体の美しさ	ていねいに仕上げているか	←同左